

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 塚本 瑞貴
所属 (School) 生命環境科学域
獣医公衆衛生学教室
学年 (Grade) 5年生

留学先 (Name of overseas institution)
アメリカ合衆国, オレゴン州立大学
留学期間 (study abroad period)
2017/07/10~2017/10/03

記入日 (Date) 2018/01/18

留学レポート Study Abroad Report

私は現在、獣医公衆衛生学教室に所属しており、こちらで食中毒原因細菌の研究を行っています。このたび共同研究先のオレゴン州立大学にて3ヶ月短期研究の機会をいただき、研究だけでなく多くの貴重な経験を積むことができました。

私の体験談を読んでいただき、参考になれば幸いです。なにより自分で体験することなしには、皆さんの経験とはならないのです。ぜひあなた自身の留学を目一杯充実させてください。この場では、オレゴン滞在中に私が感じたことを話させてください。

まずアメリカの学生は一般的に、日本とは異なり、学生が主体で自由度が高いです。希望できる講義は多岐に渡り、その中にはヨガやロッククライミング、キャニオニング、ダンスなど、非常に興味深いものがありました。その代わりに、専門科目の単位を取得するのは難しいようです。私は研究室ワークのみでしたので授業は取っていませんでしたが、みんな単位を取得するための課題やテストに追われている印象でした。一日中家でパソコンに向かってる友人に何をしているか尋ねると、ずっと宿題をしているとのことでした。

しかし向こうの学生は、学生同士お互いに助け合っている印象を受けました。私は滞在中に、アメリカ出身の人とは数えるほどしかかわりませんでした。インターナショナルの友人がたくさんできました。日本人を含め、アジア人系、メキシコ人、南米などさまざまです。インターナショナルの学生同士、学ぶ時も、遊ぶ時も、食事、イベント、引っ越しなどなど、様々な場面で持ちつ持たれつで助け合っていました。頼られる側も頼る側もお互いさまで、時には文句を言いながらも絆を深め合っていました。とにかく何かあれば協力してくれるし、私も何かあれば協力したい、という気持ちになれたのです。それはすばらしい収穫でした。

また、むこうの研究室生活では、コミュニケーションの大切さをまなびました。日本よりもディスカッションが小まめに行われており、距離が近いと感じました。先生の前での建前というものがありません。最近あったことや、実験のことなどを毎日話します。最初は教授にたいし、恐れ多かったり、すれ違う時に緊張したりしていましたが、その必要はなく、ありのままがいいと気づきました。学生が主体ですので、何かをしなければいけないという重圧はなく、何かしたいときに教授がアドバイスをくれるという考え方です。そのために、お互いの意思疎通は欠かせません。また、コミュニケーションを怠ると、信用を失うことにもつながるので、下手な英語でもあきらめてはいけません。

わたしの教授は最初から私の英語力には期待していなかったもので、その点で困りませんでした。私ができるまで説明をしてくれていました。留学先で日本人の英語の上手さはあまり期待されていないケースはよくあると思います。何よりも、知ったかぶりをしないことです。もちろん言語にかかわらず当然のことですが、わかったふりをするとその後のミスにもつながりますし、新しいことを学ぶ機会を失うこととなります。しかし最初は英語が聞き取れないため、何度も聞き返す勇気ややる気を失うこともあります。私はそういう時は、正直にむずかしいと伝えたり、友人であれば、ちょっと英語に疲れたと伝

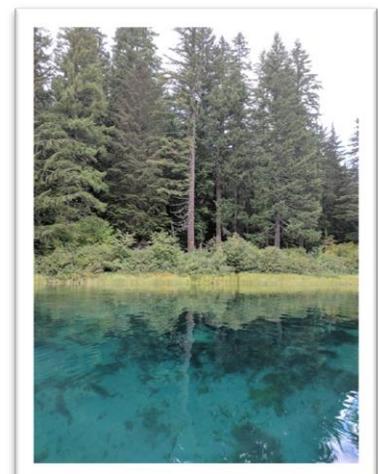
えたりします。どうしても理解する必要があるときは、紙と鉛筆やジェスチャーを用いることもできますが、そうでない場合は、わからないから仕方ないな〜と気にしないのも一つの選択です。

また、留学先を悩んでいるなら、私はアメリカなら西海岸を推します。とくに私の行ったオレゴンは自然が豊かで、夏ならアウトドアし放題です。オレゴンは、地球上のすべての地形がこの州に存在するといわれ、地理学が発達しており、アウトドアのスポーツメーカーの発祥地としても有名です。また西海岸の人々のはのんびりとしており、自然が美しく、そして何より平和です。観光には、日本を出国する前に国際運転免許証を取得して、レンタカーすることをお勧めします。

↓ ラボの教授に連れられ、ニューポート、シルバーフォールへ。



↓ Painted hills と、水が本当に青い湖。オレゴンで友人に連れて行ってもらいました。



↓ 数えきれないローカルビールの種類には二度と飽きる気がしませんでした。



友人のかわいい子供も一緒に、森の中の温泉へ。オレゴンでのキャンプは最高です。↑

ぜひみなさんも、留学先で自分の世界をひろげてください。